

■保育士さんとの交流会開催■

H29年1月29日(日) 富岡公民館 和室 10時～12時

保育評議会の保育士さん10名、中央図書館の方1名、保育フォーラム役員12名で行われました。まずお互いに簡単な自己紹介をし、各園から保育士の先生方への質問をさせていただきました。(なお保育士さんの回答はあくまで個人の見解です。)

【入船保育園からの質問】

Q、担任が複数の時に子供に対する接し方で役割分担がありますか？(怒り役、なだめ役など)

A、そういう分担では無いですが…(笑)。この先生は怖いとかこの先生は許してくれるとか、なんとなく子供の方が作っている空気感がある。

A、2人で組んでいて片方の先生が怒ったりしたら、もう一人の先生がフォローしたり、その場、その子達の行動に応じて対応している。

A、役割分担とはちょっと違いますが、0歳児や1歳児で月齢が小さかったりすると、担当制という制度を用いた保育をすることもあります。

【猫実保育園からの質問】

Q、保育士さんが自身で購入して保育園で使用している物は、どんな物でしょうか？

A、基本的にはありません。使わなくなった本や玩具を持ってくることはあります。

ただその時の旬や季節に応じた物を伝えたい時、劇で使いたい時などは、持ち込んで保育をすることはあります。

A、自分の小ネタとして出すもの（パネルシアターや手袋シアターなど）は、自分で購入したり作ったりして、園で使用していることもある。

【当代島保育園からの質問】

Q、子供にイライラする時はありますか？また、その時の対処法は？

A、人間なのでイライラしないという事はないと思いますが、頭に今の自分は職業としてやっているの、感情のままぶつかっても、その時は止めるけど、やってはいけない事・危ないんだよって子供には分かってもらえないので、単純にぶつけてはいけないと考えて接している。

A、職業なので、個人として「んっ」とこらえてやる部分もあるけど、大概同じ部屋に保育士がいる。年齢が高くなって言葉で返ってきて、こちらも言葉で返すうちに、お互い感情が高まってしまっただめだと思ったら、チェンジしてもらおう。

そこはおうちで1対1で向き合うのと違って、仕事としてやっているの、個人の冷静な判断もあるし、その時に頼る人がいるのはとっても大きいと思う。

【高州保育園からの質問】

Q、自分の子供と園で預かる子供への接し方は、やっぱり違うものですか？

A、違います。同じだったらここにいないね（笑）

A、親御さんには、子供がお父さん・お母さんが仕事に行くように、保育園にきて頑張っている事を知って欲しい。親御さんは、保育園で好きな遊びができて、友達と遊んだりしていて、おうちより楽しそうに見えてるいかもしれませんが、保育園では子供ながらに気を使っていて、緊張や頑張りが持続していて、おうちでの素の姿を見せないで、やっぱり精神疲労に繋がるのかなと思う。なのでお休み出来る時は、おうちでゆっくりしてくださいって言うのは、そういうところに繋がっています。

【東野保育園からの質問】

Q、保育士さん自身が妊娠・出産した時に、保育士の仕事を続けられる環境でしょうか？

A、保育士さんは女性が多いという環境だから、見方が多い職場かなと思う。

A、(男性保育士さん)結婚はまだしていませんが、妊娠も出産もしないですけど…(笑)。職場でいうと支える側になってあげたい。だから「出産しました。すみません」「妊娠しました。この時期にすみません。」と何で謝るのですか？安心して産んでらっしゃいよ！と僕は思おうとしているし、出産でいいなあと思いながら働いています。

A、(ベテラン保育士さん)実際は難しい職場だと思います。

自分の子を公立保育園に預けると、お迎えが間に合わない事が月に何回も生じていた。これからの人が、妊娠・出産と計画立てていかないといけない部分もあって、年々厳しくなっているなあと思っている。

自分の子が具合悪くて、かなり無理をさせて行かせているけど、元気なお子さんを保育するときのジレンマが結構大きかった。乗り越えるまでが辛かった。

A、保育士全体を見たときに、公立は産休・育休と保証されていて恵まれている。民間の保育士さんたちは、そういうのがまだきちんと保証されていないという所もまだまだいっぱいある。それで公立の所は保育士が長く続けられているという大きな環境の面もある。

【富岡保育園からの質問】

Q、大勢の子供がいる中で、それぞれの子供の話を聞くときのポイントに興味があります。

A、なるべく一人ずつ順番に聞くようにしている。

A、保育園だと何かしていても、それを止めて話を聞いてあげることが出来る。うちでは、やっぱり座る間も無いくらい忙しくて、聞いてあげられないっていう時は、今はこれをやっていて聞いてあげられないから、後でちゃんと聞くね！と約束して後で必ず聞いてあげる。

あと子供が話すことって半分くらい想像の話だったり、話がとんでたりしますが、それでも聞いてほしくて話していると思うので、「へえ、そうなんだ〜」「すごいね〜」って言うと、聞いてもらったって思う。自分も子供のころ台所でお母さんに話すのが好きだった。全部が全部きちんと向き合って話を聞くのは難しい。そういう行為、近くにお母さんがいるっていうことが、子供にとってはその時間が安心できて

大事だったのかなと思う。ただ、その話をしている中で、あれ？って思うような心配な会話が聞こえてきたら、後で聞いてあげる。子供からの SOS だけは逃さないようにして、流して聞いててもいいかなと私は思います。

A、一人の子供から聞いた話を他の子供にも話したりして、みんなで共有出来るようにしてみんなで盛り上がったり、一生懸命話してくる子には、1対1で大事に関わってあげて聞いてあげたり、その時の状況に応じて対応している。

【入船保育園からの質問】

Q、先生方は公立保育園内で異動がありますが、園によって特色がありますか？

A、あります(笑)。環境が違うので、地域性ってすごく大きい。保育内容は変わらないけど、重視する場所が違うとか言葉に表すのは難しいですけど、自ずと保育園の立地環境によって保護者の要望も違う。あと中のカリキュラムは統一カリキュラムというのが一つ大きいがあるので、それをもとに子供たちに教えながら園独自で色々決めてあるので、園目標も違ってくる。

A、園児の人数も全く違うので、雰囲気も違う。

Q、保護者の要望が違うとは、どのようにちがうのでしょうか？

A、すごく感じたのは、要望というか家庭環境が違うので、夏休み明けにクラスの半分が日本を出ていた。そうすると保育も自ずと話題が変わってくる。近くの水族園に行ってきたよというのでは、中心に取り上げるものが変わってくる。日本人だけのクラスじゃなく、多国籍の子がいるクラスというのでも、異文化を取り入れることが出

来たりする。4年に1度のお祭りも元町の保護者にとっては一大イベントだけど、同じ日に新町に行ったら(お祭りの)空気がないです。そういう所が違うと思う。

【東野保育園からの質問】

Q、今までで一番大変だった思い出は？

A、遅番の時に子供が怪我をして、雨の中おぶって病院に連れて行ったことです。でも大変なんですけど大変？というか…うんうん(保育士さん同意)。でも大変だったけど、こういうことも知れたし良かったと思う。そういうのがあるから仕事を続けられていると思う。

A、地震の時、特に新町地区はすごかったので、通常地震や災害が起きると訓練の流れで、ジャンパーを着て、外に出る準備をしていたら、「外出ちゃだめ！」と言われ、園庭を見ると液状化状態。そこからの開園して落ち着くまでの一連の流れは大変だった。でもあの時ほど色んなアイデアを出した。

A、大変だったことも、でも楽しかったよね、とすり替わってしまうから働けるのかなと思う。

A、私立で少し働いていたが、一年目で0歳児の担任をもって、一年目だったのですごく緊張とか不安が子供に伝わっていたみたいで、なかなか子供たちが心を開いてくれず、愛着関係を作るのが大変で1年間苦勞したけど、今はいい経験だったと思っています。

A、過ぎてしまえば全て経験！失敗もいっぱいしていますが、それを盾に肥やしに、またステップアップと思ってやってきているので、ないですね。

A、保育士は、どうしようと思うことに会うと、向かっていきたくなる人の業種ではないかと思う。大変だったというかすごく悩んだのは、赤ちゃん組で最近母乳の方が多く、母乳の子は保育園来るとミルクを飲まないという子が多くて、預かる側として、赤ちゃんが話せない、お腹すいた〜と泣いているのに、どうにかしてあげたいと思って、場所を変え、物を変え、抱き方を変え、その子のために何が出来るか、もちろんお母さん達とも話し、どうしたらその子が満たして安心して保育園で過ごせるかという事を、一生懸命やった年がその母乳の子が9人中6人ぐらいいて、とにかく何とかしようとしていたのが残っています。

A、やっぱり震災の時で、保育士で自分の子供を同じ浦安市内に預けていると、私たちは公務員なので職場が先。自分の子は、後なんです。迎えにも行けない自分の子供の安否もわからないっていう状態でした。親御さんも1時間2時間かけて歩いて保育園に来て、「あ〜良かった、先生たちも無事、子供もも無事」って泣きながら抱きつかれたときに、私たちのことも心配してくれていると思って、すごく嬉しかった。親も大変だったろうな、自分たちも大変だったなというので、一番印象に残っている。

A、先週インフルエンザになってしまって、注射もしていたのに熱も36℃代なのに節々が痛くて痛くて、夜中二日くらい寝られなかったのが大変でした。

A、色々大変なことあったけど、やっぱり忘れちゃっていて、みんなの話聞いていて私たちってバカなんだ〜って思う。保育バカですね〜。

A、長い事やっていますが、保護者との永遠の別れを迎えたこととか、子供との永遠の別れを迎えてしまった時が一番辛かったです。これは何にも置き換えられないです。ずーっと辛かった所で止まってしまう。なので、その場所を通れなかったり、私はその行事はどうしても楽しい思い出にすり替わらないっていう行事がある。長く続けてきて、楽しいこと・良かったとか、いい経験だったよねって置き換えられないのは、永遠のお別れを迎えてしまったとき。そういう事にならないように子供たちを育てたいし、お父さん・お母さんにも、それから仲間にも本当に気を付けてほしいっていうのが一番の根っこにあるのかなと思います。

【高州保育園からの質問】

Q、「幼稚園保育」と「保育園保育」の違いをどのように捉えていますか？

A、多分ですが、幼稚園では教育、保育園では何もしてくれてないように受け取られているのではないのでしょうか。でも私たちなりに0歳児から小学校に上がるまでのきちんと発達捉えて、その都度必要な援助をしていっている。そして小学校に送り出すまでの長いスパンで見えていく中で、それと生活をするっていうところでの意味合いも大きく関わってくるので、生活をしながら何かを覚えていく、出来るようになっていく生活を中心に持ってきているので、結構考えて幼稚園のカリキュラム、浦安統一の生き生き浦安っ子というカリキュラムに則って、それぞれの年齢に必要な経験、それから援助をしながらやっている。

幼稚園は時間が短いので、その後に習い事をする時間があるから、先に知識を得ている感じがするのではないのでしょうか。保育園では、小学校は楽しいことを学べるところだによって気持ちを育てて送りだしている。

A、知識よりも、話を聞くとか理解力とか、小学校に行って自分の言葉で自分の気持ちを伝える力が必要だと思う。

【富岡保育園からの質問】

Q、保育士さんから各家庭へのお願いなどありますか？

A、忘れ物はしないでほしい。園側としては、園の物を貸しても何の問題もないが、子供が嫌な思いをしたり、お友達が先に気づいてあの子〇〇持ってきてないよ！って言われて可哀そうな思いをする。

A、子供とのコミュニケーションはすごく大事だけれども、子供っていうのは現実なのか作り話なのか、分からないようなことを言ったりする。それをおうちでこう言ったからと言って、100%事実だと思ってほしくない。じゃあ、うちの子が嘘を言っているのかという事ではなくて、我が子ではなくて子供ってこんなもんだよねって分かって頂いたうえで、大人同士話して同じ目線で見たいというのが望ましいと思う。そのコミュニケーションをとって欲しいと思う。

それで私たちが陥りやすいのが、子供が上手に気持ちを伝えられなかったりすると、子供の気持ちを察して、つい代弁してしまう。そうすると保護者の方への要望に聞こ

えてしまう。それを保育士の思い・気持ちと捉えないで、あくまでも真ん中に子供の姿があつての言葉だと捉えて貰えたらと思う。

A、お迎えは、7時には間に合つて欲しい。保育士も子供を預けたり、誰かに頼んでお迎え行ってもらつたり、その間おじいちゃんやおばあちゃんがみてるという人もいるので、7時には間に合つて頂きたいと思います。よろしくお願ひします。

【浦安市職員組合保育評議会より宣伝】

毎年、浦安市全体の子育応援しようということで、『親子フェスタ』を開催しています。

日時 : 3月12日(日) 10:30 ~ 16:00

場所 : WAVE 大ホール

手作りおもちゃやバランスウエーブなど、保育園で出来るような遊びを提供しています。無料で遊べます。是非遊びに来てください。